

金沢龍馬會

会報

金沢龍馬會 事務局
2019年冬季号
巻18号



年頭にあたって

会長 蛭子政喜



会員の皆様、あけましておめでとうございます。平成最後の正月を楽しく過ごされている事とお慶び申し上げます。

昨年は金沢龍馬会発足 15 周年を会員皆様のご協力で無事迎える事が出来ました。

今年も龍馬の生き方、考え方など通じて会員相互の連携をより一層図るため、例会などで会員講話を中心に互いに研鑽を図り、会員を増やしながらより一層の交流懇親を図りましょう。

金沢龍馬会の皆様方の益々のご清栄と更なるご活躍をご祈念申し上げます。

《龍馬会北陸三県大会》

日時：9月1日（土）～2日（日）

場所：白山山麓岩間温泉「山崎旅館」

激しい豪雨に遭遇し交通は乱れ開催が危ぶまれましたが予定されていた参加者は全員参集することができました。

白山山麓岩間温泉「山崎温泉」にて北陸三県大会、富山/石川龍馬会 15 周年大会、全国龍馬社中近畿北陸ブロック大会が開催されました。

金沢龍馬会から

小屋/中川/蛭子/佐藤/吉田/油谷/中城/朝日/小幡

/折戸/中田文/那波/加藤の 13 名、越前 15 名、富山 6 名、近江の風龍馬夢倶楽部 6 名、総計 40 名が参加しました。（それと講師の高山みな子さま、山崎さん）

三々五々秘湯に入った後、大会を開始し各龍馬会会長より三県大会、15 周年への言葉をいただきました。

引続き勝海舟玄孫の高山みな子様より「海舟にとっての江戸無血開城」という題目でお話をいただきました。

無血開城に関係した当事者同士は突然面談しこの重大事項を決めたわけではなく、それぞれ若い時から当事者に影響力を及ぼす指導者との交流や紹介があり、それが重大局面で歴史的決断に到達することができたとの解説でした。

また多方面、特に商人が海舟に影響を与えた事も説明されました。それらが他外国とは違う対立者同士のその後の良い関係を生み、新国家建設に良い影響を与えたとのことです。

懇親会に移り歌手でもある「近江の風龍馬夢倶楽部」の関島リーダー様からご発声を賜りました。

4 龍馬会の会員同士が交流を行い、日帰りの皆様は 18 時に旅館を出発し各地へ戻られました。

宿泊の 18 名は更に高山様を囲み夜遅くまで有意義な懇談をしました。

翌朝は再度秘湯に浸かり朝食後、四方へ惜別と



第7回 北陸三県龍馬会交流会

山崎旅館(岩間温泉) 2018年9月1(土)

なりました。

なお高山様は金沢の名所を巡られ、卯辰山の中腹に安達幸之助の石碑に行きました。

加賀藩士、安達幸之助は、明治2年大村益次郎（村田蔵六）が京都で刺客に襲われたとき、大村を守るため身代わりとなり殺されました。

その勇気をたたえ、勝海舟が明治3年に撰文しここに石碑を建立したものです。しかし素材が砂岩らしく表面が摩耗し、碑文がほぼ判読不能でした。

その石碑の更に上段にある神社に辿り着いたところ神職に会い、事情を説明したところ、見えなくなった碑文を書いた書籍を見せてくれました。

高山さんは喜んでおられました。龍馬さん・海舟さんのおかげでよい巡り合わせがあったことをご報告します。

結果的に、天候への不安があったものの予定者が全員参集できたこと、秘湯へ入り、じっくりと高山さんの講演を聞き、楽しく食事をし、宿泊者は談話室で高山さんを中心に語り明かしたこと、翌朝朝ごはんが美味しかったこと、その後三々五々帰途につけたことと、参加者はそれなりに満足されたと確信します。

小屋さんがDVDを作成され高山さん、越前、富山、近江宛に送付されました。金沢では希望者におわけしました。

山崎氏に感謝感激です。紙上を借りて御礼申し上げます。



【花見会のお知らせ】

花見会：4月6日（土）15：00～

場 所：金沢市幸町 15-36「わかばやし別館」
（犀川桜橋近所）

参加費：¥3,500 円

《第30回全国龍馬ファンの集い報告》

日時：10月6日（土）7日（日）

会場：よみうりホール（東京都千代田区）

報告者 金沢龍馬会 中田俊郎 副会長

いわゆる龍馬会の全国大会に初めて参加して参りました。

一番印象に残ったのは基調講演での歴史学者、磯田道史氏のお話でした。

坂本龍馬は土佐の才谷屋という豪商の家で生まれ育ち、特に不自由な暮らしをしていなかったと思われるのに、なぜ脱藩したか？

亀山社中を立ち上げ、薩長同盟の仲立ちをしたりして明治維新に貢献したのに、わずか33歳で暗殺された際に龍馬は何を考えたか？

いろは丸事件での龍馬のあざやかな交渉術についてなど、わかりやすい解説を聴くことができ大変有意義でした。

また海援隊で終始龍馬と行動を共にした「陸奥宗光」の教えに、旅の移動中は疲れていなければ、自分の行動についての思案をする時間に充てなさいという話も印象的でした。

またパネルディスカッションでは意見交換も各自それぞれの土佐や龍馬に対する思いが有り貴重な体験でした。

最後、全国龍馬社中の役員の皆様が壇上に上がり坂本家10代目の挨拶を見守りました。

本大会終了後、場所を移動して国際フォーラムで交流会の会場時間となるまで金沢龍馬会のメンバーでお茶を飲みながら山梨県の「山梨龍馬会甲斐援隊」の皆様とも交流を行いました。

交流会も多くの参加者で賑わい各地区のメンバーとも交流を深めることができました。

ステージ上では米米 CLUB の元メンバーら何組かのアーティストが演奏で会場を盛り上げました。

来年は10/26（土）に高知で本大会・大交流会が予定されており期待ができます。

金沢龍馬会からも多くの方が参加されますよう期待しています。

新入会員 117 堀野昌弘、 118 松下敏之

【編集後記】

皆さま、今年も宜しくお祈りします。心の中に常に“龍馬の志し”を持ち張り切ってまいりましょう。

これからもご指導ご鞭撻をいただきながら楽しい会報作りを目指したいと思っています。ゆしみいっぱいです。会報も第18号が完成、漸く皆さまにお届けすることが出来ました。

***** 事務局*****

金沢龍馬会

会 長：蛭子政喜

事務局長：吉田信夫

080-5600-1113

jitianxinfu@hotmail.com

会報担当：中田俊郎 090-7806-2269

n-toshio@muji.biglobe.ne.jp

金沢龍馬会 公式ホームページ

<https://kanazawa-ryomakai.com>

金沢龍馬会 facebook

<https://www.facebook.com/kanazawa.ryomakai>

